

暮しと健康

症状ゼロを目指す
喘息コントロール
緑内障との付き合い方
秋・冬の水虫ケア

“症状ゼロ”の毎日を目指そう!

特集 気管支喘息は コントロールできる

早期発見・早期治療が力ぎ

緑内障で失明しないために

再発予防で来シーズンにそなえる

水虫ケアは秋・冬も忘れずに!

ヘルシートーク
生まれ持った性のカタチに
ルールなんてない!!
佐藤かよさん
(モデル/タレント)

今月の表紙
「秋の柿」
西垣 豊



新しい治療
末梢動脈閉塞症の血管新生治療
うつと躁を繰り返す双極性障害
話題の病気

Question 08

心臓

ベース
メーカー

88歳の母のことご相談します。母はうつ血性心不全で2週間前にベースメーカーを入れました。その後、動悸を訴えたので主治医に言うと、リード線がずれている可能性があるので、手術してワイヤを入れ直す必要があると言われました。また手術をすることに不安があります。そもそもベースメーカーはきちんと固定されていないものなのです。今後もこのようなことが起こるのなら、不安です。なにかしてはいけない姿勢、運動、行為などはあるでしょうか。

(神奈川県 W・H)

リードがずれるのは珍しくない。
元の病態で再手術の時期を決める

Answer

ベースメーカーの手術がうまくいきホツとした後に、再手術が必要となれば、心配されるのはよく理解できます。

一般にベースメーカーのリードは固定されているわけではなく、術後数週間かけて徐々にリード先端と心筋が癒着していき、しっかりと固定され、引っ張つてもなかなか抜けないほど固定されます。それまでの間はリード線がずれ、再手術が必要になることがあります。リードは右心房の前側にある心尖部に固定されることが多い、これらの場所は心筋表面が均一でなく、リードが抜けにくい構造をしています。しかし構造には個人差があ

り、抜けやすい患者さんもいらっしゃいます。

リードの移動は右心房、右心室

に戻すこと)できなくなれば命にかかるため、緊急で再手術が必要になります。もともと徐脈による心不全があつたのならベースグ不全で脈が遅くなり、再び心不全になる可能性があるので比較的早い時期に再手術が必要です。

また、リード移動によりリード先端が不安定になり、心臓を刺激して期外収縮という不整脈が出現することがあります。再手術までの時間が数カ月と長ければ、移動した場所でリード線が心筋に癒着してしまって、早期に再手術をしたほうが安全といえます。

再手術の術後感染の危険性は一度目の手術とほぼ同等です。ベースメーカー植え込み手術は開胸手術とは違い、侵襲(体へのダメージ)が小さいため、高齢者の方でも比較的安全に受けていただけます。

再手術の時期は、元の疾患・病態によつて違う

再手術の時期はもともとの病気により異なります。意識を失うような重い症状だった場合にはリード移動でペーシング(脈拍を正常と)できます。

植え込み側の腕の動きに注意する

手術後植え込み側の腕を肩よりも頭側に動かすとリード線が引っ張られ、リード移動しやすくなることが知られています。このため、術後1カ月、特に1週間は植え込み側の腕を肩よりも上げないことを指導しています。あまり厳しく守りすぎると肩の筋肉がこわばつて痛みが残り、再度動かすのにリハビリが必要なことがありますので、厳密に守りすぎることも注意が必要です。

術後1カ月は過度の運動は避け、10kg以上の重い荷物を持つことや、水泳などの肩を大きく動かすスポーツは禁止しています。さらに具体的なことは、主治医に聞いてみるといいでしょう。



私が回答します

豊橋ハートセンター
循環器内科 部長山城荒平
やましろ こうへい

〒441-8530
愛知県豊橋市大山町五分取21-1
TEL.0532-37-3377
<http://www.heart-center.or.jp/>